



アニメを選んだ。まず映像を見ながら、画像と音楽を合わせたい部分や音楽の雰囲気の変わりどころをチェックし、小節数を決めてしまう。その後でそのポイントに合わせてながら全体の音楽像を創り、最後にオーケストレーションする。憧れだったピクサーアニメはシーンの変わり目も多くとてもやりがいがあった。また、パソコンを持って行ったので、先生とファイル交換しながら素早くポイントを掴む事が出来た。似たような素材を使う友達とパソコンを共有して様々な発見もある。彼らのお気に入りや自作曲を聞かせてもらったり、映画や画像素材について話し合ったりした。周りの日本人だけに頼りたくなかった私は必死にその中に入って、彼らとコミュニケーションをとれるよう努力した。

2週目の演奏者は、先生が集めてくれたプロ奏者だ。レコーディングとコンサートどちらも演奏してくれるので、彼らに自分の曲の意図を伝えるのにも工夫が必要だった。クリックに合わせてつつ、わかりやすい上に表情も上手く伝えられる指揮も練習した。

そして最終日のコンサート。初見に近い譜面を演奏するプレイヤーに本番はハプニングも続出だったが、講習中に知り合った友達も沢山見に来てくれて無事、大成功で幕を閉じた。

この2週間で印象に残ったのは、授業だけでは無く、日常のちょっとした一コマだ。友達と、毎日片道15分かけて美しい庭園やお城のような建物を通りながら寮から教室まで通い、面白そうなコンサートを選んで見に行き、帰りにパブに寄ってから、夜遅くまで寮の広間で作曲する。普段作曲科にいと個人作業が多い分、クラス7人がほとんどいつも一緒にいてお互い協力しながら作業するということが新鮮だったし、いつのまにかかけがえのない思い出になっていた。このSummer School、このコースならではの収穫だと思う。

そして、外国への想いも強くなった。講習へ行く前は卒業したら日本で働きたいと思っていたが、こんな広い世界の中で、ちっぽけな自分は一体どこまで何が出来るのか、自分自身に興味があった。まずは、語学。さらに、イギリスだけでなく多くの他国文化に直接触れるべきだと思った。

貴重な夏、最高の夏!!この経験で感じた事を生かし、これから先の自分の夢や卒業後のプランも考えながら、残りの国立音大での学生生活で腕を磨いてステップアップする力を蓄えて行きたいと思う。



ファイナルコンサートで、ミゲル先生を囲んで。